

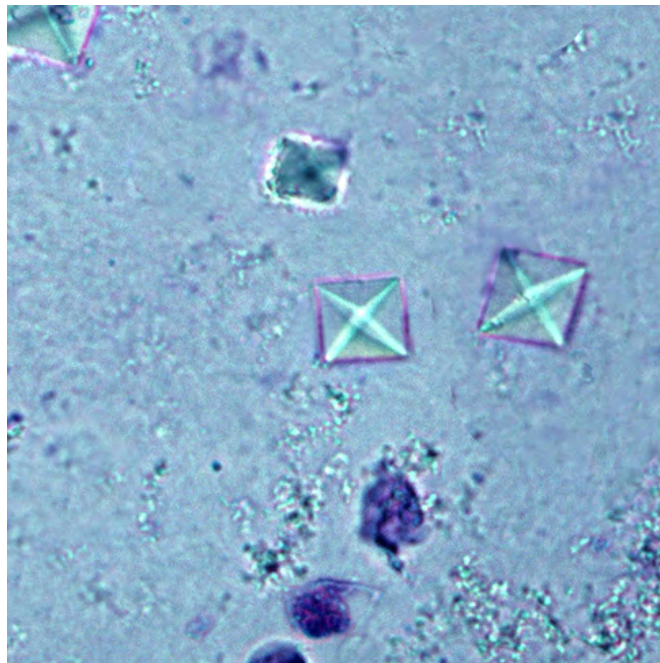


下部尿路の健康

猫の下部尿路の健康：食餌の役割

猫にとって、下部尿路の健康維持は重要です。いくつかの研究では、動物病院を訪れた猫のうち3~5%が下部尿路疾患 (FLUTD) に罹患していると報告されています。

FLUTD は、特発性膀胱炎、尿石症 (尿結晶や尿石) その他を含む疾患群で、膀胱と尿道に影響を与えます。FLUTD には、ストレス、飲水量不足、過体重、運動不足、出産など、原因となる因子が多数あり、再発しやすい傾向があります。栄養は、猫の下部尿路の健康を維持するための複合戦略の一部となる場合があります。



キーメッセージ

- 下部尿路の健康維持のために調製されたフードは、尿 pH バランスの維持を助けることから、健康な猫にとって有益である可能性があります。
- 定期的に給水器を清掃し、清潔な水に交換して、新鮮で清潔な水をいつでも飲めるようにしておく必要があります。複数の動物を飼っている場合は、猫が別の動物に攻撃されるリスクを感じる場所 (部屋の隅など) に給水器を置かないようにします。
- ドライフードのみを食べ、自由に水が飲める環境にいる場合、ほとんどの猫が適正な水分補給を維持するために十分な量の水を摂取します。しかし、下部尿路疾患の傾向がある猫では、次の方法で水分摂取量を増やすとよい場合があります。
 - ウェットフードを与えるか、ドライフードに水を加える。
 - 猫に好みがある場合は、異なるタイプの水分補給場所 (容器に入った静水、ファウンテンなどの流水) を用意し、タイプの異なる容器 (プラスチック製は避ける) を使用する。
 - 特別に調整し、栄養を強化した味付きの水分補給物を与える。
- ストレスやそれに伴う FLUTD のリスク因子を軽減するために、次のような道具を与える。
 - パズルフィーダーを使ってフードを与えるなど、おもちゃを使って遊んだり、運動したりする時間を設ける。これにより、理想的な体型を維持し、その他のリスク因子が低下する可能性がある。
 - 複数の動物を飼っている場合は、十分な数の道具 (給餌器、給水器、清潔な猫用トイレ、おもちゃ、空間など) を用意する。また、簡単にアクセスできる道具 (シニア猫が出入りしやすい猫用トイレなど) を設ける。

(次のページに続く)

その他のリソース

Lulich, J. P., Berent, A. C., Adams, L. G., Westropp, J. L., Bartges, J. W., & Osborne, C. A. (2016). ACVIM small animal consensus recommendations on the treatment and prevention of uroliths in dogs and cats. *Journal of Veterinary Internal Medicine*, 30(5), 1564–1574. doi: 10.1111/jvim.14559

Queau, Y. (2019). Nutritional management of urolithiasis. *Veterinary Clinics of North America: Small Animal Practice*, 49, 175–186. doi: 10.1016/j.cvsm.2018.10.004

Sparkes, A. (2018). Understanding feline idiopathic cystitis. *Vet Record*, 182(17), 486. doi: 10.1136/vr.k1848

Hostutler, R. A., Chew, D. J., & DiBartola, S. P. (2005). Recent concepts in feline lower urinary tract disease. *Veterinary Clinics of North America: Small Animal Practice*, 35(1), 147–170, vii. doi: 10.1016/j.cvsm/2004.08.006

Tarttelin, M. F. (1987). Feline struvite urolithiasis: Factors affecting urine pH may be more important than magnesium levels in food. *Veterinary Record*, 121, 227.

Purina Institute は、ペットがより長く、より健康的に生きるための、科学に基づく顧客に寄り添った情報を提供することで、ペットの健康に関する議論の最前線に栄養を位置付けることを目指しています。